

第9回 東海大学

丹沢湘南観光交流フォーラム



【テーマ】将来の丹沢湘南地域の観光を考える

2年後の2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの外国人観光客が日本を訪れることとなります。日本固有の観光資源を有する丹沢湘南地域では、今後どのように観光の活性化を進めていくべきでしょうか。オリンピック後も含め、将来の地域の観光のあり方を考える重要な時期にあると考えられます。

基調講演では、多数の観光振興施策の立案や参議院議員として観光立国推進基本法の立案にも携わった藤本祐司教授にお話しいただきます。また10月に学生たちの協力を得て実施した外国人を対象とした高尾山でのアンケート調査の結果等を振り返りながら、丹沢湘南地域での今後の観光の可能性について話題を提供します。

パネルディスカッションでは、地域の観光関係者の方々をパネリストとしてお招きし、藤本教授も交えて、ご来場の皆様とともに議論を深めます。

開催 2017年2月19日(日) 14時開会

基調講演 藤本祐司 (東海大学観光学部教授・前参議院議員として観光立国を推進)
『我が国を取り巻く観光の動向と地域の課題』

【フォーラム】場所：タウンニュースホール 3階

- 13:30 受付開始 (小田急東海大学前駅南口を左に出て徒歩1分)
- 14:00 開会挨拶 立原繁 (東海大学観光学部 教授 観光学科主任)
- 14:05 趣旨説明 司会 本田量久 (東海大学観光学部 准教授)
- 14:10 ~ 15:10 **基調講演 藤本祐司 (上記)**
『我が国を取り巻く観光の動向と地域の課題』
- 15:10 ~ 15:40 **話題提供 栗原剛 (東海大学観光学部 講師)**
『東京近郊観光地のインバウンド観光プロモーション戦略』
- 15:40 ~ 15:50 休憩 (10分間)
- 15:50 ~ 17:00 **パネルディスカッション (会場参加者との質疑応答を含む)**

【テーマ】丹沢湘南地域における今後の観光の方向

コーディネーター 屋代 雅充 (東海大学観光学部 教授)

パネリスト 藤本 祐司 (上記 基調講演者)

目黒 仁 (一般社団法人伊勢原市観光協会会長・大山阿夫利神社宮司)

古住 博 (大山観光電鉄株式会社 総務課長・事業課長)

保坂 富士雄 (秦野市都市部 参事兼公共交通推進課長・地域公共交通マイスター)

勝村 孝造 (一般社団法人平塚市観光協会 事務局長)

栗原 剛 (上記 話題提供者)

●17:00 総括・閉会挨拶 松本亮三 (東海大学観光学部 教授)

○17:05 ~ 17:15 アンケート記入・交流会会場案内



【交流会】17:30 ~ 19:00 タウンニュースホール 2階 ライブカフェ・ミッシェル

■主催:東海大学 観光学部 ■協力:丹沢湘南観光連携会議 ■参加費:無料 ■定員:約150名 ■参加申込:不要

【前日16時までの問合せ】 東海大学 湘南キャンパス 0463-58-1211 内線3951 観光学部事務室

●駐車場が不足する恐れがありますので、公共交通機関でのご来場をお勧めします。

第9回 東海大学 丹沢湘南観光交流フォーラム



【テーマ】将来の丹沢湘南地域の観光を考える

開催：2017年2月19日（日）14:00 開会
タウンニュースホール（小田急東海大学前駅南口を左に出て徒歩1分）

■開催趣旨

2010年4月に東海大学観光学部が設置され、約7年が経過しようとしています。このフォーラムは観光学部設置の先駆けとして2007年度にスタートしました。大学周辺に位置する丹沢湘南地域の市町間での観光連携や魅力ある地域づくりについて考えるため、有識者を招いて有用な話題やヒントを提供していただき、意見交換の場として開催して参りました。

今回は「将来の丹沢湘南地域の観光を考える」をテーマとしました。基調講演では、多数の観光振興施策の立案や参議院議員として観光立国推進基本法の立案にも携わった藤本祐司教授に、我が国を取り巻く観光の動向と地域の課題についてお話しいただきます。

本学部では、一昨年度から丹沢湘南地域のインバウンド観光の推進を目指して、学生たちとともに丹沢湘南観光連携会議*の協力を得ながら、外国人向けの観光バスツアーを実践し、外国人にとって魅力を感じる観光体験の内容を把握してきました。さらに今年度は都内に滞在する訪日外国人をどのようにして丹沢湘南地域に誘致するのがよいかを探るため、高尾山を訪れた外国人205名に対して現地でも面接アンケートを実施しました。

話題提供では、栗原剛講師が高尾山での調査結果とともに東京近郊観光地のインバウンド観光プロモーション戦略についてお話しします。これらを踏まえてパネルディスカッションでは「丹沢湘南地域における今後の観光の方向」について、地域の観光振興を実践されている方々をパネリストにお招きし、ご来場の皆様とともに議論を深めていきたいと考えます。

地域の暮らしやまちづくり、観光振興、景観形成、文化事業、商業振興、農業振興、地場産業振興等に関心を持たれている多くの方々のご参加をお待ちしております。

*東海大学観光学部が幹事となって運営しており、丹沢湘南地域に属する自治体が広域連携することによってより魅力的な観光の振興を図ることを目的に、実践的な試みを重ねている。参加団体は、平塚市、一般社団法人平塚市観光協会、秦野市、一般社団法人秦野市観光協会、伊勢原市、一般社団法人伊勢原市観光協会、一般社団法人厚木市観光協会、大磯町、二宮町、中井町、神奈川県湘南地域県政総合センター、NPO法人湘南ウェディングサポート、東海大学観光学部（2017年2月1日現在）。

■基調講演者プロフィール

藤本 祐司（ふじもと ゆうじ）

1957年静岡県浜松市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、御殿場市のホテルとレジャー施設に入社。1986年退社後、米国ミシガン州立大学にて修士取得後、株式会社三和総合研究所に入社し、多数の地域活性化策や観光振興施策の立案に取り組む。2004年7月参議院議員に当選し、2016年7月議員を引退し現在に至る。

参議院議員の任期中は、野党筆頭の担当者として議員立法である「観光立国推進基本法」の立案に携わる。2009年9月、鳩山内閣および第一次菅内閣で観光庁等を担当する国土交通大臣政務官に就任し、観光庁予算の倍増、中国人査証の取得要件緩和等現在の観光政策につながる政策を実現した。2012年10月より野田内閣で内閣府副大臣、2013年10月より参議院国土交通委員長を歴任。国会議員を務めるかたわら、早稲田大学社会科学研究所博士課程で学び、2015年3月満期退学。



■主催：東海大学 観光学部 ■協力：丹沢湘南観光連携会議 ■参加費：無料 ■定員：約150名 ■参加申込：不要
【前日16時までの問合せ】 東海大学 湘南キャンパス 0463-58-1211 内線3951 観光学部事務室

●駐車場が不足する恐れがありますので、公共交通機関でのご来場をお勧めします。